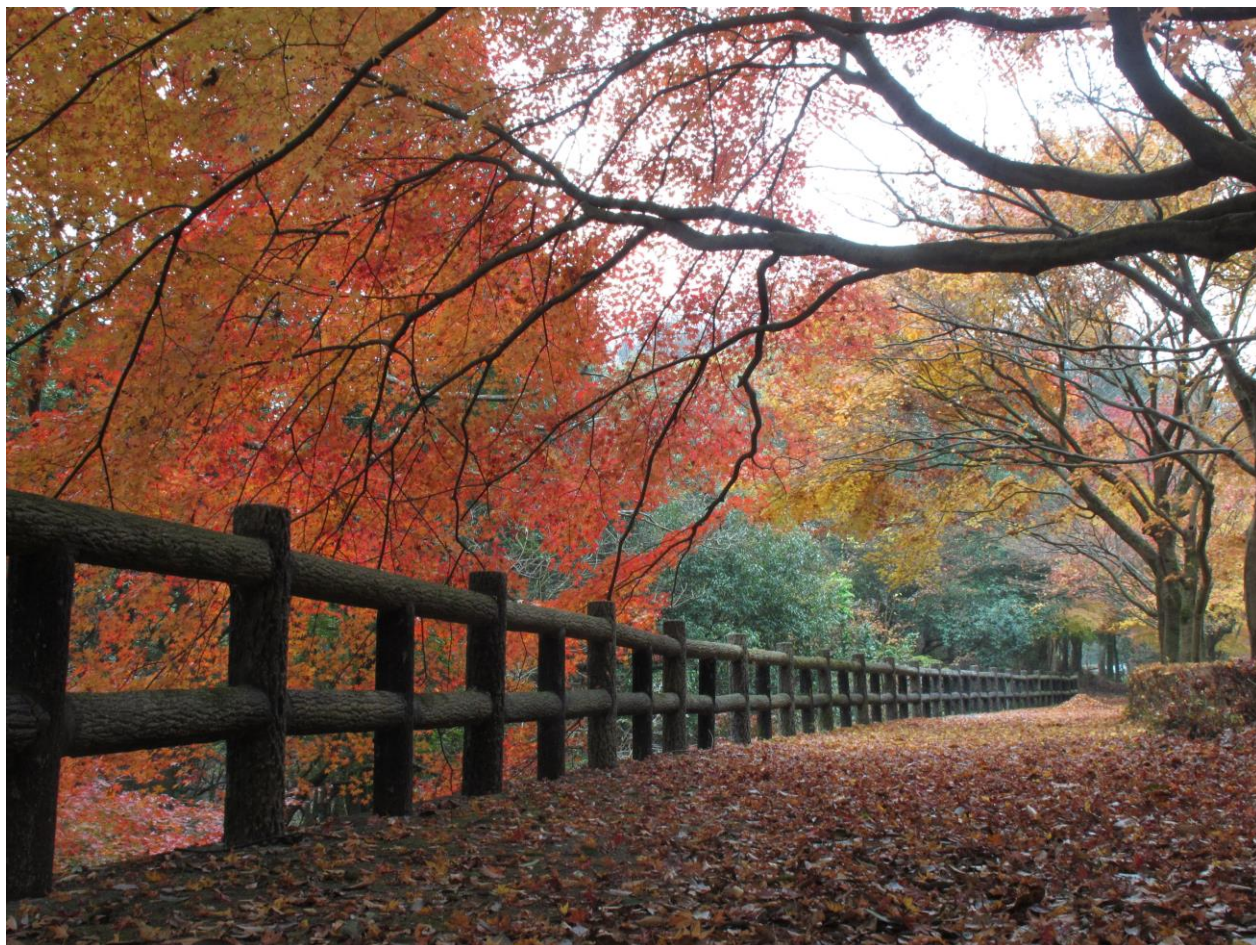


緑化だより

No.155 令和元年11月号



入口園路の紅葉

11月 休園日はありません

- 季節の花(サネカズラ)
- 昆虫の話(栗から出てきてびっくり
・クリシギゾウムシ)
- 小さな世界こけ(コケが観察できる場所)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

ひろしま 緑化の森

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811

FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>

E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

サネカズラ

「名にし負(お)はば 逢坂山(あふさかやま)の さねかずら

人に知られで くるよしもがな」

後撰和歌集(小倉百人一首 25) 三条右大臣(藤原定方)

これを訳しますと

(逢坂山のさねかずらが逢って共寝をするという名を持っているのなら、そのさねかずらを手繰り寄せるように、人に知られないであなたの元へこっそり尋ねていく方法があればいいのになあ)

さねかずらは蔓の先が複数に分かれて絡み合うことから、「後に合う」または「逢う」ことを、恋がいつまでも続くことを願うように詠われています

逢坂山は山城国(京都)と近江国(滋賀県)の国境にあった山で関所がありました。「逢坂山」と「逢う」との掛詞になっています。

サネカズラは、マツブサ科サネカズラ属で、実が美しいカズラというのが名前の由来です。

学名は「Kadsura Japonica」で、日本語の葛(かずら)からきています。

関東以西～沖縄、および韓国の済州島、中国大陸南部の暖帯、台湾に自生する、雌雄異株の常緑つる性木本植物です。秋には球形の赤い液果が多数ついて、美しい集合果を作り、下垂します。



サネカズラ(ビナンカズラ)

昔は、はぎとった樹皮を水に浸すとできる粘液を、びん付け油の原料としていました。江戸時代には武士などが洗髪用に使い、これを使用すると「美男」になると言われ、男女ともに整髪用や洗髪用に使いました。これらから、別名「美男葛」(ビナンカズラ)と呼ばれます。

果実は「南五味子(なんごみし)」と呼ばれ漢方薬として使われています。樹皮からとれる粘液は紙を作る時の糊剤としても利用されました。

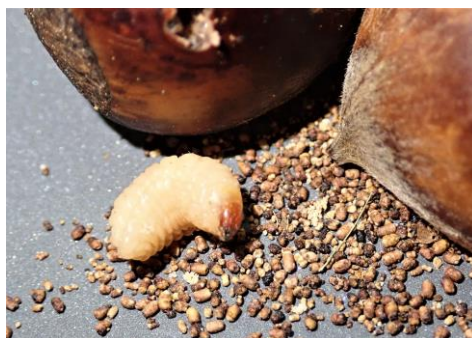
晩秋の山里にでかけて美しい赤い実のサネカズラを探してみましよう。(上村)

昆虫の話

栗から出てきてびっくり・クリシギゾウムシ

秋、収穫したクリを剥いていると、白い幼虫が出てくることがあります。また、ドングリを拾って帰るといつの間にか穴が開いていて、白くて丸い幼虫が出てきたという経験はありませんか？ これはシギゾウムシの仲間の幼虫です。

呉娑々宇山周辺では、クリにつくクリシギゾウムシと、ドングリにつくコナラシギゾウムシが見られます。どちらの虫もとても長い口を持っています。ゾウムシの仲間は口が頭からゾウの鼻のように飛び出しているの



クリシギゾウムシ

すが、その中でもシギゾウムシの仲間はとても細く長い口をしているため、シギという鳥のくちばしになぞらえて付きました。

シギゾウムシの仲間は、木に実っているクリやドングリに卵を産み付けます。この際、細く長い口をドリルのように使って器用に穴を掘ります。クリやドングリの硬い殻もお構いなしです。卵から孵った幼虫は木の実を内側から食べて成長し、秋の終わりに冬を越すまで、殻に丸い穴を開けて出てきます。その後、幼虫は地中へ潜って冬を越し、次の年の夏に蛹になり、夏の終わりに秋にかけて成虫になって、また木の実へ卵を産みに行くのです。

ちょうど今頃、シギゾウムシの幼虫は外へ出てきます。山で木の実を見かけたら、丸い穴が開いていないか、確認してみてください。そして山で木の実を拾って帰った方、容器の底に白い幼虫が出てきていないか、チェックしてみてください。(市森林公園こんちゅう館 逸見)

小さな世界 こけ

コケが観察できる場所

緑化センターは、南から北に下る大きな谷になっているため、コケが生育するのに適した環境になっています。そのため約 80 種類以上のコケが観察できる場所がたくさんありますのでシリーズでご紹介します。

まず、緑化センター入口右の植え込みの大きな石には、ケギボウシゴケ(セン類)がはりついていました。黒っぽい緑色をした円形のかたまりです。乾燥しているとき、葉は筆の穂先のようにくっついていて、葉先をよく見ると、透明に長く伸びています。12 月ごろから見られる胞子体は、柄が短いため葉に包まれるように、ルビー色の蒴が顔を出します。



ケギボウシゴケ

入口左、「ひろしま遊学の森」の看板の後ろの石にはハチヂレゴケ(セン類)が見られます。濃い緑色で円形のかたまりですが、乾燥している時、葉は内側に巻いています。10 月頃からでき始めた胞子体は、3 月下旬から胞子を飛ばしますが、終わった後も長く残り、赤くなった蒴歯は長く楽しめます。チヂレゴケの蒴帽は、蒴をすっぽり覆いますが、ハチヂレゴケは半分くらいです。



ハチヂレゴケの胞子体
ハチヂレゴケの蒴帽

東屋裏のサクラの幹や石碑の裏側などでヤマトフタマタゴケ(タイ類)が見られます。

幅 1.0mm くらいの葉状体で、葉先は二股に分かれ、真ん中にすじ(中筋)があり、葉の縁には毛があります。3 月頃、毛が生えた円柱形のカリブ



ヤマトフタマタゴケ

ヤマトフタマタゴケのカリブトラ

研修会のご案内

トラ(孢子体を保護するもの)がつきます。(山根)

- 11月 1日(金)『松の手入れ(秋)』
松のもみあげを实践しよう
※要予約(先着20名)、無料、剪定ばさみ・手のご持参
10:00~12:00 学習室 集合
講師: NPO 法人「樹木医ひろしま」
工藤 徹
- 11月 6日(水)『11月の自然探勝』
秋の風物詩~紅葉・落ち葉・木の実~
※自由参加・無料、ルーペ持参
10:00~12:00 学習展示館前 集合
講師: NHK 広島文化センター
アシスタント 上村 恭子
- 11月 13日(水)『秋の写真教室』
秋を写そう
※要予約(先着20名)、無料、カメラ持参
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 二科会会員
宗岡 泰昭
- 11月 23日(土・祝)『整枝・剪定講座』
基本をしっかり身につけよう
※要予約(先着20名)、無料、剪定ばさみ・手のご持参(見学不可)
10:00~12:00 緑の相談所 集合
講師: 樹木医
難波 正孝
- 12月 1日(日)『クリスマスリース作り』
自然素材でリースを作ろう(直径40cm以下で)
※要予約(先着30名)、材料費500円
10:00~12:00 学習室 集合
講師: 森林インストラクター
長井 稔

☆お知らせ・ご案内☆

秋のおでかけキャンペーン ~11月17日(日)

もみじ祭り ~11月17日(日)

もみじ祭りお楽しみイベント 11月10日(日)10:00~15:00

場所: レストハウス前
落ち葉プール、ノルディック・ウォーク、木工クラフト
紙ヒコーキ飛ばし、ネイチャーゲーム、花苗・焼いも販売
キッチンカー(たこ焼き、たい焼き、唐揚げ)



◎ 展示会

場所: 学習展示館
(ボード展示)

・ひろしま遊学の森
子ども写生大会作品展 11月2日(土)~12月1日(日)

場所: レストハウス
(ガラスケース展示)

・こぎん刺し作品展 11月2日(土)~12月1日(日)



こぎん刺し作品展

~ 森林公園 イベント情報 ~

・11月3日(日・祝), 4日(月・振休)
9:30~15:30 10:15~15:30

開園30周年記念「紅葉まつり」
(芝生広場 特設ステージ)

・11月17・24日(日) 木の実・落ち葉で遊ぼう
10:00~15:00 (こんちゅう館)

・11月23日(土・祝) 自然観察会(樹木観察)
13:30~15:30 (芝生広場)